

里海宣言沖縄県恩納村 2019

地域の人びとが密接に関わり、沿岸域の生物多様性、生物生産性、生態系機能を高めている里海が、日本全国および海外で広がりを見せている。『里海カンファレンス in 恩納村 2019』は、「里海の価値の協創」と「沖縄の地域特性を活かした里海づくり」をテーマに、2019年12月7日、沖縄県恩納村の沖縄科学技術大学院大学で開催された。

カンファレンス参加者は、日本および世界で、里海をつくり、持続・発展させるために、次の活動に取り組むことを宣言する。

1. 漁業者が主役となり、子供たちとの里海学習・海洋教育を通して、生協や流通加工企業と協働して、地域住民や都市住民と連携して、自治体とのパートナーシップによって、および科学者と地域の主体との協働によって、里海の価値を協創する。
1. サンゴ礁の保全再生、持続的な観光産業との太く強い連携、森里川海の連環、離島の特性など、沖縄の地域特性を活かした里海づくりを行う。
1. 里海概念の深化、里海づくりの担い手の発掘、多様な主体による相互連携、里海を持続させるための資金メカニズム、多世代にまたがる里海学習と交流など、沖縄だけでなく各地の里海に共通する課題を共有し、豊かできれいな自然環境を維持しつつ持続的発展をめざす。
1. 里海のネットワークを構築し、相互学習により里海の技術的・制度的課題の解決を図る。
1. カンファレンスの成果を広く世界に発信する。

2019年12月7日 里海カンファレンス in 恩納村 2019 参加者一同